

冬号

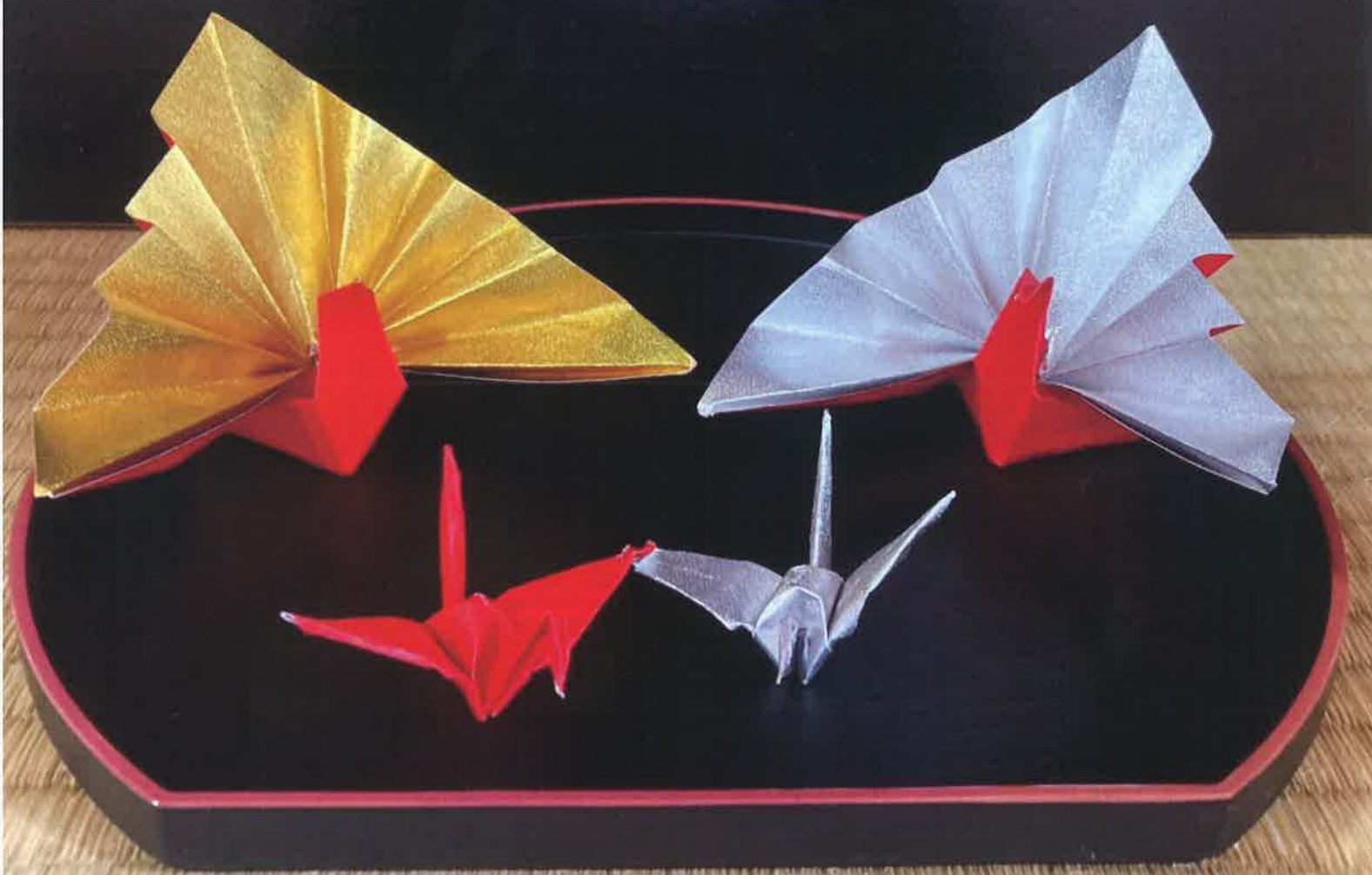


2023年1月

中土佐町社協だより

ふくしの チカラ

発行
第 528
高知県社協



Contents

- 新年のご挨拶／新年の抱負・・・・・・・・・・・・・・・・P2-3
- 大野見みんなの文化展・・・・・・・・・・・・・・・・P4-5
- 中土佐町まちづくり施設だより～消防訓練編～・・・・P6
- つながりづくりは大切な備え（つどい処防災学習）・・・・P7

表紙の折り鶴は・・・
矢井賀・上ノ加江地域ふくし
活動推進委員中城さんの作品

謹んで新春のご祝詞を申し上げます

旧年中は格別のご厚情を賜り、また本会の福祉活動にも深いご理解とご支援を賜りましたことを厚く御礼申し上げます

昨今、未だ新型コロナウイルス感染症の終息も見えないなか、全国各地で発生した自然災害により甚大な被害に見舞われておりますが、中土佐町も例外ではなく、被害で深刻なダメージを受けた地域もありました

そのようななか、中土佐町で初めて災害ボランティアセンターを立ち上げ、平日にもかかわらず、多くの町内ボランティアさんが参加活動され、被災者さまの生活再建にご尽力賜り、人の温かさ、人の強さをひしひしと感じられた年となりました

本会の運営では、四月より新たに小規模多機能型居宅介護事業所「いらっやの丘笹場」及び地域密着型通所介護事業所「デイサービスセンターのじぎく」とオープンし、介護福祉事業全てを笹場地区に拠点とし、一カ所にまとまり、事業間の連携は勿論、利用者さまの介護サービス提供に努めております

また、四月にはあったかふれあいセンター「まんまる」が中土佐町こどもセンターへ、九月には磐乃國の「萬屋」及び地域活動支援センター「つどい処」の障害福祉課がテニスコート横の久礼老人憩いの家に、それぞれ久礼の中心部に移転しました。住民の皆さんが気軽に立ち寄り、集い・学び・健康維持につながる場所として職員一同取り組んでおります

このような形で令和四年度のハード面は全て役場が主となり関係機関と連携を図り、事業を始めていただき感謝申し上げます。人口減少高齢化が進むなか、大変厳しい状況ではありますが、これまで以上に身近な社協、信頼される社協を目指し、皆さまに親しんでいただけるよう努めてまいりますので、本年もどうぞよろしく願ひ申し上げます

社会福祉法人 中土佐町社会福祉協議会

会長 坂井 貞嗣

令和五年

新年の抱負



あったかふれあいセンターほのぼの大野見



デイサービスセンターのじぎく



総務課



～変化する地域ニーズへ柔軟な対応ができる組織づくりへ～

地域アクションプラン ～

みんなの文化展



「地域住民の生きがいづくりと集いの場の充実」というアクションプランのもと、子どもから高齢者まで誰もが関われるようにと11月5日(土)6日(日)の2日間、吉野体育館で「大野見みんなの文化展」を開催しました。この取り組みは、「集まる場や発表の場が減ったのは高齢者だけではない。」「楽しみにしていたイベントが中止になって、出ていく場所がない。」等の声が住民から聞かれ、大野見地域ふくし活動推進委員(大野見みんなの文化展実行委員)が立ち上がり、今回で3年目の開催。2日間で179名の参加がありました。

作品展示では、保育・小学校・中学校の子どもたちの作品や、個人の絵画や写真、「短歌会」や「みんなの学校」等の各サークルから趣味趣向を凝らした素敵な作品が展示されました。

ステージ発表では新たに参加してくれた「なかよし会」と「ギター教室」、町外のフラダンスチームなど、地域を越えたつながりができました。

飲食販売では大野見小学校の子ども達がもち米を販売。ここでも世代を超えた住民同士の交流が行われていました。大野見地域の各団体や協力者による販売も大好評!

「来年はより多くの人に関わってもらいたいね。」「町外や県外にいる大野見出身者への周知の方法も考えんといかんね。」と、文化展実行委員の思いは来年に向けて歩き始めています。



～出展者の声～

- みんなに見てもらえてうれしかった。新しい作品をつくる意欲が出た。
- 子どもたちの作品を見て元気が出た。
- 写真と書が少なく残念。出展してもらえるように声掛けをせんといかんね。





～ 地域福祉計画 大野見

第3回 大野見



～出店者の声～

- 歳がいても参加できてよかった。来年も参加できるように健康で居らないかね。
- 町内・外のイベントで販売している。子どもから高齢者まで幅広い年齢層の方に食べてもらう事ができて嬉しかった。参加していい経験になった。

いたどりゼリー



ステージ発表

～発表者の声～

- ここ数年いろんな行事が無くなり発表する場所がなかった。今回参加できて大勢の人に見てもらえて嬉しかった。
- 発表者の中に大野見以外の人がいる事で、町外からも見に来てもらえた。大野見の住民活動を見てもらえるいい機会になった。



中土佐町福祉まちづくり施設だより

～消防訓練編～

11月22日（火）晴れ

中土佐町福祉まちづくり施設で利用者の方と一緒に消防訓練を実施しました。この日はテラスから駐車場へ避難をし、その後、水消火器を使っての消火訓練や建物内の消火栓等防火設備をチェックしました。

福祉まちづくり施設が開設され初めての消防訓練で、職員も若干戸惑いながらも無事7分で全員避難ができました。

常時車椅子を使って移動されている方は、あらかじめ車椅子に乗っていただいた状態からの避難でしたが、いざとなった時のために慌てないように車椅子介助し避難する課題も見えてきました。

このようなことが起きないことが何より大切ですが、色々なことを想定し行動できるよう職員一同、しっかりと訓練していききたいと思います。



建物内には消火栓が5箇所あるよ！
(ホースの使い方の説明を受けました)



消火器を実際に使ってみたよ！

居室やホール内にはスプリンクラーを設置しており煙や熱に反応し、天井から放水される仕組みになっています。



【職員の声】

いざと言う時に利用者と自分の命を守る行動をとれるよう今後も継続して訓練をしていきたい。

【利用者の声】

突然のことで驚いたが、職員の優しい声掛けで安心しながら避難できました。(Oさん)

職員の落ち着いた行動で、安全に移動できてよかった。(Hさん)

つながりづくりは大切な備え



地域活動支援センターつどい処では「自分の命は自分で守る！大災害時に備えた準備を進めよう!!」と防災学習会や避難訓練などを定期的に行っています。

今回は、11月13日(日)に開催された「中土佐町総合防災学習会」の避難所生活疑似体験コーナーを見学してきました。

見学後、ミーティングでの意見交換

・避難所はテントで区切られ、思っていたよりもプライベートが確保されている空間でした。けど、そこで数ヶ月も過ごすと考えたら誰もが不安になりイライラが増えると思います。自分の事で精一杯な状況だと「助けてほしい」「配慮して」と言いづらい。ストレス発散させる場所はどうやってつくるのだろう。(Aさん)

・防災学習会に参加していた時につどい処に協力してくれるボランティアさんが声をかけてくれたり、教えてくれたりして安心できました。不安なことも相談しやすい。そんな人が増えると災害の時にも心強い。(Bさん)

・見えにくさがあります。慣れるまでは案内してくれる人がいないと移動が難しいです。トイレが一番心配です。家族と一緒に避難できない時に、移動の手伝いしてくれる人見つかるかな。(Cさん)

・補聴器をつけています。色々な人がいる避難所ではたくさんの音をひらってしんどいと思います。逆に補聴器をのけていると大切な情報を聞き逃してしまうかもしれないです。避難所で聞こえにくい人へ情報が伝わるような工夫があるといいな。(Dさん)



気づき

・不安なことはたくさんあるけど、配慮して欲しいことは自分からまわりに伝えないと伝わらない。

『自分から発信していく力』をつける、『地域に理解してくれる人を増やす』は、大災害の備えの1つ!

・避難所生活をする人の中には配慮が必要な人がたくさんいます。障害あるなしに関係なくお互いが助け合って過ごせる避難所になるように今後も学びが必要。

私たちつどい処は、地域の方と一緒に、防災について学んでいけたら良いと考えています。

今後、『東北の災害で障害のある方が3.11どう乗り越えたのかを学ぼう!』の勉強会を行います。

興味のある方は、ぜひつどい処

(電話 0889-52-2880) までご連絡ください。



つどい処での防災の学びは、
これからも続きます・・・



『第51回高知県オールドパワー文化展』が開催されます。シニアの方々が洋画・日本画・書道・写真・工芸・彫刻の作品を出品されています。ぜひ鑑賞しに行かれてみてください。

出品作品も募集しています。詳しくは、高知新聞企業HPをご覧くださいか、高知県社会福祉協議会いきいきライフ推進課（☎088-844-9054）までお問い合わせください。

たくさんのご寄付を いただきました

(順不同・敬称略)

* プルタブ

谷 久子 谷 真理子 秋山 莉子 高橋 守
 下元 和恵 西村 勇 伊尾木 善博 市村
 高橋電器 モア 矢井賀なかよしクラブ
 匿名希望…数名

* その他

善賢寺 双名園

* 切手

谷 久子 岩本 伸子 嶋岡 久美 高橋 守
 矢井賀なかよしクラブ 高橋電器
 匿名希望…数名

皆さま、温かいお気持ちをありがとうございます♡大切にに使わせていただきます。

田中 正芳選手 第22回全国障害者スポーツ大会に出場しました！

令和4年10月29日から31日にかけて第22回全国障害者スポーツ大会が栃木県にて開催され、中土佐町から田中 正芳さんがグラウンドソフトボール競技の高知県代表選手として出場されました。
 今後とも応援よろしくお願いします。



【結果】グラウンドソフトボール競技

1回戦 対静岡県 1-3 敗退
 交流戦 対滋賀県 8-0 勝利

赤い羽根共同募金へのご協力ありがとうございました

今年も、常会長さん地区長さんのご協力を得て、たくさんの募金が集まりました。今回集まった募金は、来年度の地域の福祉活動に役立てられます。

令和5年度 共同募金助成団体 募集!

町内で地域福祉の推進を図る活動やボランティア活動を行う団体へ助成を行っています。1月末まで募集をしていますので、希望する団体は、中土佐町共同募金委員会までお気軽にお問い合わせください。

【応募方法】 申請書提出

【問合せ先】 中土佐町共同募金委員会

(中土佐町社会福祉協議会内) ☎52・2058 担当・中平

